



II 駒林遺跡第4地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2007年4月27日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲外に位置するが、面積が1,000㎡を越えるため、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請者と協議の結果、遺構の分布を確認し遺跡範囲を明らかにするための試掘調査を実施した。試掘調査は同年6月11日から13日まで行なった。幅2mのトレンチ2本を設定し重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった。調査の

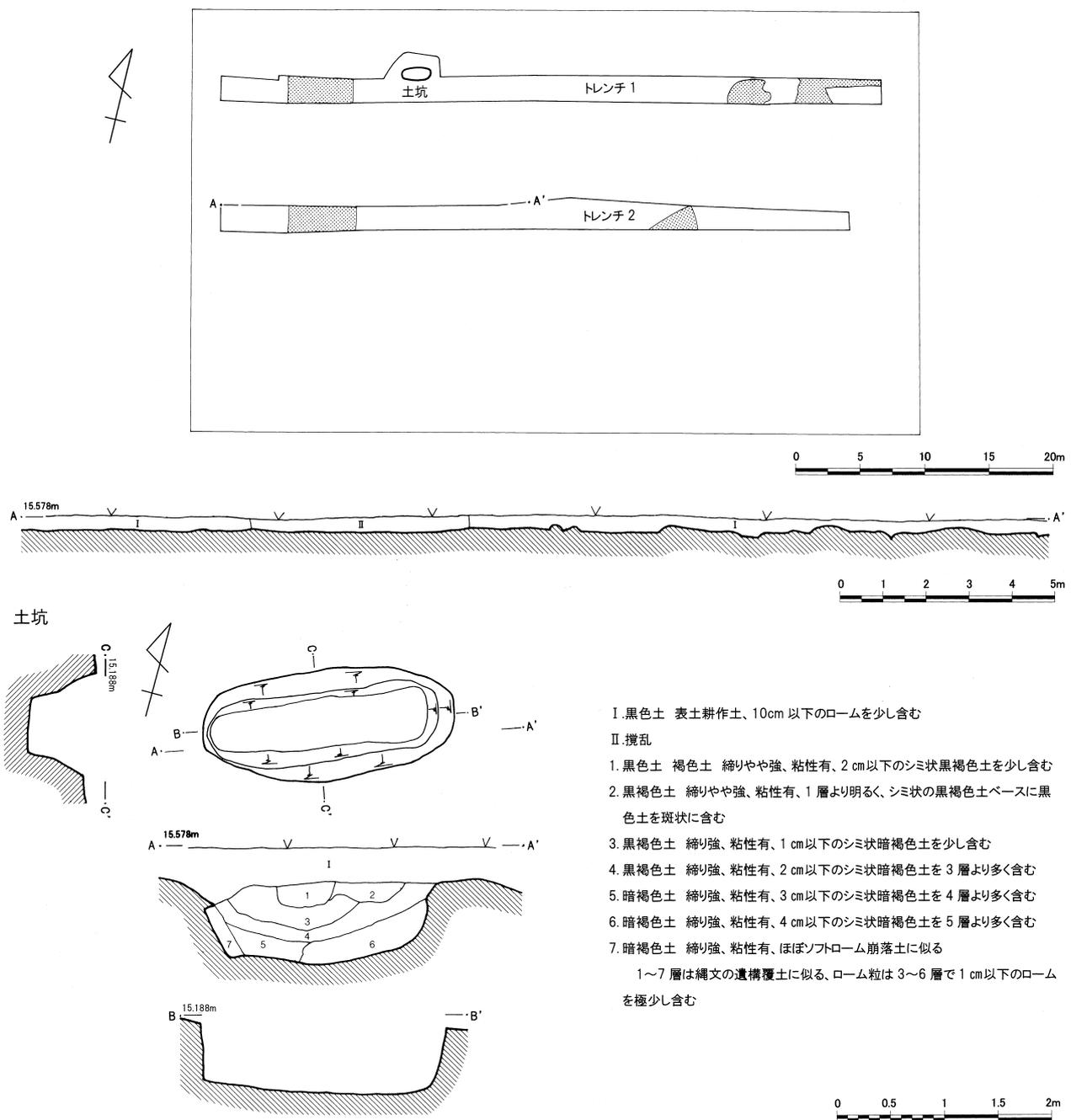
結果、土坑1基を検出した。遺構の時代は、覆土層の観察から縄文時代とみられる。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。遺構の確認・検出を行ない、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻して調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①土坑

調査区の北西部で土坑1基を検出した。覆土層の観察から縄文時代の時期とみられる。

土坑の平面形態は長方形を呈し、規模は確認面径236×105cm、底径205×47.0cm、深さ65.8cmを測る。



第36図 駒林遺跡第4地点遺構配置図 (1/500)、土層図 (1/150)、土坑 (1/60)



駒林遺跡第4地点試掘調査近景



駒林遺跡第4地点試掘調査トレンチ1



駒林遺跡第4地点土坑1



駒林遺跡第4地点試掘調査風景



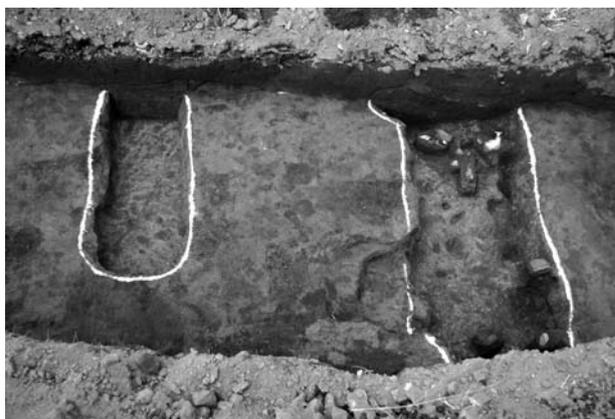
福岡新田遺跡第1地点試掘調査トレンチ1



福岡新田遺跡第1地点試掘調査トレンチ2



福岡新田遺跡第1地点試掘調査トレンチ3



福岡新田遺跡第1地点土坑4、溝1